

粕屋町都市計画マスタープラン（案）に対する

パブリックコメントの結果について

令和2年4月8日（水）から令和2年5月8日（金）までの期間で、粕屋町都市計画マスタープラン（案）について、パブリックコメントを実施し、ご意見を募集しておりましたので、その結果及び意見に対する回答をご報告いたします。

貴重な意見をいただき、誠にありがとうございました。

1 提出方法

方法	人数・団体数	意見の件数
持参・郵送・FAX	0名	0件
電子メール	1名	3件
計	1名	3件

2 意見の概要とそれに対する町の考え方

該当ページ	意見の概要	町の考え方
30ページ 下から7行 目	<p>南部大規模集客施設とボタ山の間の良い歩行空間を確保することについては優先度が低いと思うため、町内各地への生活のための歩行空間、自転車空間の確保を図っていただきたい。</p> <p>南部大規模集客施設へは町内巡回バスの乗り入れ計画が進められていますが、それだけではなく安全な歩行者・自転車空間を確保することもお願いします。車であるバスに頼らなくても徒歩や自転車で安全に行ける利便性を求めます。</p>	<p>ご意見いただきました『生活のための歩行空間、自転車空間の安全性、利便性の確保』につきましては、町としましても重要なことと認識しており、<u>2. 交通体系の基本方針の4項目の1つに「●生活道路などの整備と安全性向上、歩行空間などの充実」</u>と掲げています。ご意見の内容はこちらに含まれていると考えます。</p> <p>「ボタ山への良好な歩行空間を確保します」につきましては、必要な施策と認識しておりますが、中・長期的な計画と位置付けております。</p>
第2章	<p>現在「粕屋町防災マップ」をはじめとするハザードマップが数種類あるので、「第2章 まちの現況と都市整備の課題」に追加してほしいです。施策として、「防災・減災のまちづくり」があり、「粕屋町防災マップ」の活用や、浸水想定区域での安全確保があげられています。住民や事業者の理解を深めるためにも、現況把握としてハザードマップが必要と考えます。</p>	<p>防災マップは、粕屋町全体が載っているものや小学校区別に載っているもの、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒計画と地区別・分野別で細分されています。</p> <p>ご意見をいただいたように、皆さまに理解を深めていただくことは必要と考えており、パブリックコメントには掲載しておりませんが、第6章の後に「資料編」ということで、これまで10年間で行ってきた主な事業を挙げ、その中で令和元年度に作成した防災マップの掲載を予定しています。</p>

<p>31 ページ 下から 5 行 目</p>	<p>粕屋中部消防署周辺について、この辺りは浸水想定区域であり、多々良川沿いは家屋倒壊等氾濫想定区域であり、さらに農振農用地区域であるため、都市的な土地利用を誘導するのは防災の観点から心配です。</p> <p>このような地域については、都市化を抑制する方が一般的で、あえて都市化を誘導する説明がないため理解が難しいです。</p>	<p>当該地は、国道 201 号と筑紫野古賀線が交差していることや、現在整備中のバイパス開通により今後さらなる交通の要衝となることが見込まれるため、将来的には都市的な土地利用を誘導する区域としています。</p> <p>また、当該地は浸水想定区域のため土地利用を計画する場合には、P40 a. 防災・減災のまちづくりに記載の「<u>・浸水想定区域では、最大浸水深に応じた土地造成や建物の計画を呼びかけ、安全な都市空間の確保に努めます。また、大規模な開発を行う際には、地区計画の策定などにより調整池や排水施設を十分に整備するよう指導するとともに、雨水幹線の増強や雨水貯留浸透施設の整備による浸水対策を行います。</u>」のとおり、十分考慮して計画して頂きたいと考えております。</p>
---------------------------------	--	--